令和 7 年度 年間授業計画 教科 社会 科目 倫理

教科: 社会 科目: 倫理 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	A組 岡田信昭 B組 岡田信昭 C組 岡田信昭 D組 岡田信昭 E組 岡田信昭 F組 岡田信昭 G組 岡田信昭
使用教科書:	実教出版「詳述倫理」

教科 社会 の目標:

【知識及び技能】	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する
【思考力、判断力、表現力等】	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を涵養する。

科目 倫理 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用する。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 1 さまざまな人間の心のあり方	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける	1 発達の心理学 2 認知の心理学	人間の心理的諸機能の発達や道徳判断の発達の理論、発達段階について理解できている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する	教科書資料集	人間の心の発達が他者との相互作用の中で育っていくことについて考えることができる				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究する	資料調査	人間の知的な活動がどのような仕組みで行われているのか、興味を持ち、考えようとしている。				
単元 2 さまざまな人生観・倫理観・世界観ギリシアの思想	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉える	古代ギリシアの思想	思想家が求めた善・美の事柄、国家のあり方、人間観などについて理解できている				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する	教科書資料集	ソクラテスやプラトンが探求しようとしたものが何であったのか、どのような答えを求めたかについて思索できている				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究する	資料調査	哲学とは何を探求する学問なのかという関心と興味を持ち、調べようとしている。				
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説						
単元 3 宗教と社会	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉える	宗教思想	キリスト教の成立の背景とその宗教的な特徴が理解できている				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する	教科書資料集	宗教が人間に対して持つ意味について考察するとともに、自分なりの意見を表明できている				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究する	資料調査	現代も多くの人が信仰するキリスト教について興味を持ち、その教えがどのようなものであるか調べようとしている。				
単元 4 さまざまな人生観・倫理観・世界観II	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉える	理性への信頼と人間の尊厳	宗教改革の担い手、モラリストといわれる人たちの業績やその主張について理解できている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する	教科書資料集	ルネサンスと宗教改革の二つの運動がヨーロッパの近代化に持った意義について考察できている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究する	資料調査	近代とはそれまでの時代と何が異なり、その特徴はどこにあるのか考え、調べようとしている。				
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説						

令和 7 年度 年間授業計画 教科 社会 科目 倫理

教科: 社会 科目: 倫理 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	A組 岡田信昭 B組 岡田信昭 C組 岡田信昭 D組 岡田信昭 E組 岡田信昭 F組 岡田信昭 G組 岡田信昭
使用教科書:	実教出版「詳述倫理」

教科	社会	の目標:
【知識及び技能】	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する	
【思考力、判断力、表現力等】	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する	
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を涵養する。	

科目	倫理	の目標:			
【知識及び技能】	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。	【思考力、判断力、表現力等】	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用する。	【学びに向かう力、人間性等】	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 5 近代思想の展開	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する	自然・科学技術と人間	デカルト・ベーコンやその後の経験論・合理論の立場に立つ思想家の主張について理解できている				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
思索を深め、説明したり対話したりする力を養う	教科書資料集	人間の理性や経験をどうとらえ、真理とはどのようなものかを考える中で、科学的思考の意味について考えることができている				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養う	資料調査	現代の科学・技術と人間生活との関わりに興味を持ち、科学的思考の特徴について明らかにしようとしている。				
単元 6 人格の尊厳と人倫の思想	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する	個人・社会と自由	カントの認識論・道徳論の理解を通して、理性の働きやその尊厳について理解することができる				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
思索を深め、説明したり対話したりする力を養う	教科書資料集	個人の権利や自由が社会の中で実現できることとの条件やそのための国家の役割というものについて考察できている				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養う	資料調査	民主主義という考え方がどのように生まれたのか調べようとしている。				
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説						
単元 7 社会変革の思想	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する	民主社会の倫理	ベンサムの量的功利主義とJ.S.ミルの質的功利主義の主張とその違いについて理解できている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
思索を深め、説明したり対話したりする力を養う	教科書資料集	功利主義の立場に立つ時社会を成り立たせるための公正・公平な仕組みを構想できるのか、考察し議論することができる。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養う	資料調査	民主的な社会とどのように関わっていけばよいか、社会はどうあるべきか、どう発展させていくべきか考えようとしている。				
単元 8 理性への疑念	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する	現代思想の流れ	実存主義の思想家が主体的に生きるということについて主張をしているのか理解できている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	9
思索を深め、説明したり対話したりする力を養う	教科書資料集	実存主義の主張から、今の自分の生き方を問い直し、課題は何かについて考えることができている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養う	資料調査	現代社会のさまざまな問題と人間の思想との関係について興味を抱いている。				
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						

令和 7 年度 年間授業計画 教科 社会 科目 倫理

教科: 社会 科目: 倫理 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

教科担当者:	A組 岡田信昭	B組 岡田信昭	C組 岡田信昭	D組 岡田信昭	E組 岡田信昭	F組 岡田信昭	G組 岡田信昭
使用教科書:	実教出版「詳述倫理」						

教科 社会 の目標:

【知識及び技能】	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する
【思考力、判断力、表現力等】	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を涵養する。

科目 倫理 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用する。	人間としての在り方生き方に関する事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 9 人間観・言語観の問いなおし 【知識及び技能】 諸資料から、人間としての在り方生き方に関する情報を調べまとめる技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力】 現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考する 【学びに向かう力、人間性等】 多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 現代社会と生き方	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 現代におけるヒューマンズムの意義について理解することができている				6
	・教材 教科書資料集	【思考力・判断力・表現力】 先人の努力によって獲得された自由を、高度に発達した現代社会においてどのように考えるべきか考察することができている。	○	○	○	
	・一人1台端末の活用(場面) 資料調査	【学びに向かう力、人間性等】 私たちが長い歴史の中で獲得してきた自由の意味について考えようとしている。				
単元 10 西洋思想と日本人の近代化 【知識及び技能】 諸資料から、人間としての在り方生き方に関する情報を調べまとめる技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力】 現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考する 【学びに向かう力、人間性等】 多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 日本の風土と日本人の考え方	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 末法思想がその時代の仏教に与えた影響、鎌倉時代の仏教がどのように展開したのか理解できている。				6
	・教材 教科書資料集	【思考力・判断力・表現力】 鎌倉時代に仏教を展開した祖師たちの独自性はどのような点にあるか、まとめることができている。	○	○	○	
	・一人1台端末の活用(場面) 資料調査	【学びに向かう力、人間性等】 仏教が日本の文化に与えた影響について関心を持ち調べようとしている。				
単元 11 江戸の思想 現代の諸課題と倫理 【知識及び技能】 諸資料から、人間としての在り方生き方に関する情報を調べまとめる技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力】 現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考する 【学びに向かう力、人間性等】 多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 西洋思想の受容と近現代の日本の思想	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 西洋の思想がどのように受容されたか、またその受容に対する反発について理解できている。				4
	・教材 教科書資料集	【思考力・判断力・表現力】 現代の国際社会の中で、今後の日本がどのような役割を果たしているのかを考え、意見を交わすことができている。	○	○	○	
	・一人1台端末の活用(場面) 資料調査	【学びに向かう力、人間性等】 欧米化された現代日本社会の現状を振り返り、日本の近代社会が形成されてきたのか、問題があったのか考えようとしている。				
単元 12 現代の諸課題と倫理 【知識及び技能】 諸資料から、人間としての在り方生き方に関する情報を調べまとめる技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力】 現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考する 【学びに向かう力、人間性等】 多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 生命をめぐる諸課題自然をめぐる諸課題	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 第二次世界大戦後の日本の戦後思想が課題としたものについて理解できている。				
	・教材 教科書資料集	【思考力・判断力・表現力】 生命の誕生、病や老いや死の問題などを通して、生きることの意義について思索できている				
	・一人1台端末の活用(場面) 資料調査	【学びに向かう力、人間性等】 現代の生命科学や医療技術の状況に関心を寄せて、現状について調査し、その問題点について考えようとしている。				
定期考査(学年末考査)/返却と解説						